



# 学校だより

(2月号)平成29年2月1日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
- ・進んで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》外で元気いっぱい運動しよう

## 心の中の鬼を追い払おう

校長 清水 肇

1年の内でも最も寒い時期になりました。最高気温が5℃以下という日もあります。ところが、校門の桜の蕾を見ると少しづつふくらんでいるのが分かります。2月4日は立春です。確実に春が近づいています。

さて、立春の前の日が節分です。もともと節分とは季節の分かれ目の意味であり、立春、立夏、立秋、立冬の前日をさしていました。しかし今は立春の前の日を節分といいます。寒い冬から春になる時期を1年の境として、現在の大みそかと同じように考えられていたようです。



節分といえば「豆まき」です。「鬼は外!」「福は内!」と豆を投げ、悪い鬼を追い払う「豆まき」を行っている家庭も多いかと思えます。

節分の由来の一節を紹介します。昔は、季節の分かれ目に「邪気 (じゃき)」が入りやすと考えられていました。古代中国では大みそかの日 (節分の日) にその年の厄や災難を祓い (はらい) 清め、鬼を追い払う邪気祓いの行事が行われていました。これが奈良時代に日本に伝わり、平安時代に宮中行事として、取り入れられました。どうして大豆を使うかという、日本では穀物や果物には邪気を祓う特別な力があると考えられていたからだそうです。

先日の校長講話でも節分の話をしました。私から節分の由来を簡単に説明して、学校図書館司書の泉谷さんに「かえるを のんだ ととさん」という節分にちなんだ絵本の読み聞かせをしてもらいました。その後、子ども達に～自分の中にある追い出したい鬼は何?～投げかけてみました。2月3日に豆まきをする予定のご家庭は、お子さんから「追い出したい鬼」を聞いてみてください。



1月23日 (月) に浦和レッズハートフルクラブの「小学校授業サポート」という行事を行いました。6年生全員が参加し、落合弘さん (元サッカー日本代表選手) のお話を伺い、その後運動場で、ボールを使った運動を行いました。男女問わず、大きな声を出し、思いっきり体を動かしました。

落合さんの話の中に、ブータン王国でのサッカー教室がありました。多くの子ども達は、石ころだらけの運動場を裸足で走り回っています。経済的には決して恵まれていない子ども達ですが、友だちへの思いやりや笑顔でのあいさつはとても素晴らしかったとおっしゃっていました。考えさせられるエピソードでした。